

安全衛生

「先取的」「参加的」な明るい「ゼロ災」職場風土づくりのために「**危険予知訓練**」を行いましょ。

危険予知訓練は、
工事や製造などの作業に従事する作業者が、事故や災害を未然に防ぐことを目的に、その作業に潜む危険を予想し指摘しあう訓練で 危険 (Kiken) の**K** 予知 (Yochi) の**Y** トレーニング (Training) の**T**をとって、**KYT**といいます。

平成22年度
全国安全週間スローガン
みんなで進めよう
リスクアセスメント
めざそう職場の安全
平成22年7月1日～7日

進め方と手順

★ 職場や作業の状況を描いたイラストシートを見せたり、また、現場で実際に作業をさせたりします。

第1ラウンド(現状把握)
どんな危険が
ひそんでいるか

職場の作業の中にひそむ危険要因（労働災害や事故の原因となる可能性のある不安全行動や不安全状態）とそれが引き起こす現象（事故の型）を指摘させます

第2ラウンド(本質追求)
これが危険のポイントだ

指摘内容が一通り出揃ったところで、その問題点の原因などについてメンバー間で検討させ、問題点を整理します

ホンネで、話し合いをさせますが、指摘内容を批判するようなことは避けるようにします。

第3ラウンド(対策樹立)
あなたならどうする

整理した問題点について、改善策、解決策などをメンバーにあげさせます

第4ラウンド(目標設定)
私たちはこうする

危険のポイントや重点実施項目、指差唱和・指差呼称などを決めます

合意結果は、工場内に掲示したり、朝礼などで発表したりして、メンバー間の共通認識として情報を共有し、事前の危険回避を図ります

